

■R7年度「エシカル消費」認知度及び消費生活に関する意識・行動についてのアンケート

「エシカル消費」認知度及び消費生活に関する意識・行動について、岡山市民にアンケートを実施した結果は以下のとおりです。

【調査目的】 市民の消費活動の実態とエシカル消費の認知度について調査を実施し、消費生活相談・啓発事業の参考とするため。

【調査期間】 令和7年9月5日(金)～令和7年11月12日(木)

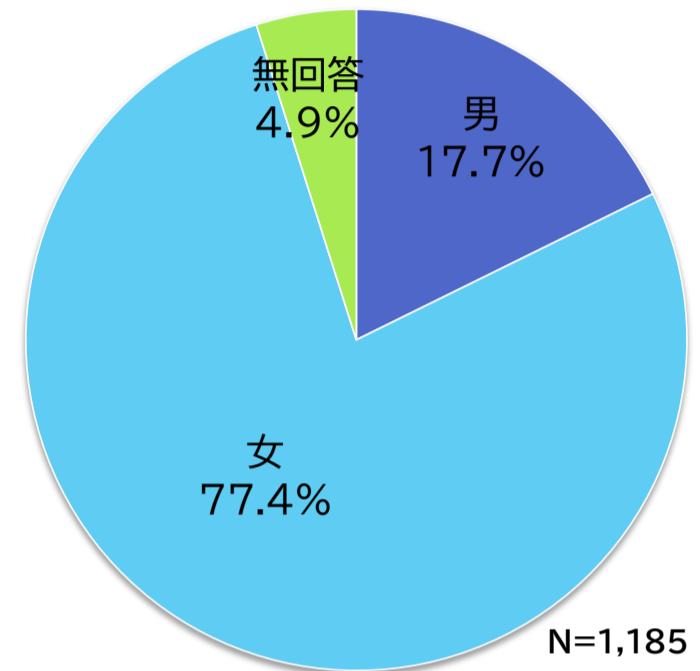
【調査方法】 アンケート1,200枚を配布

【対 象】 市民1,200名

【回答数】 1,185

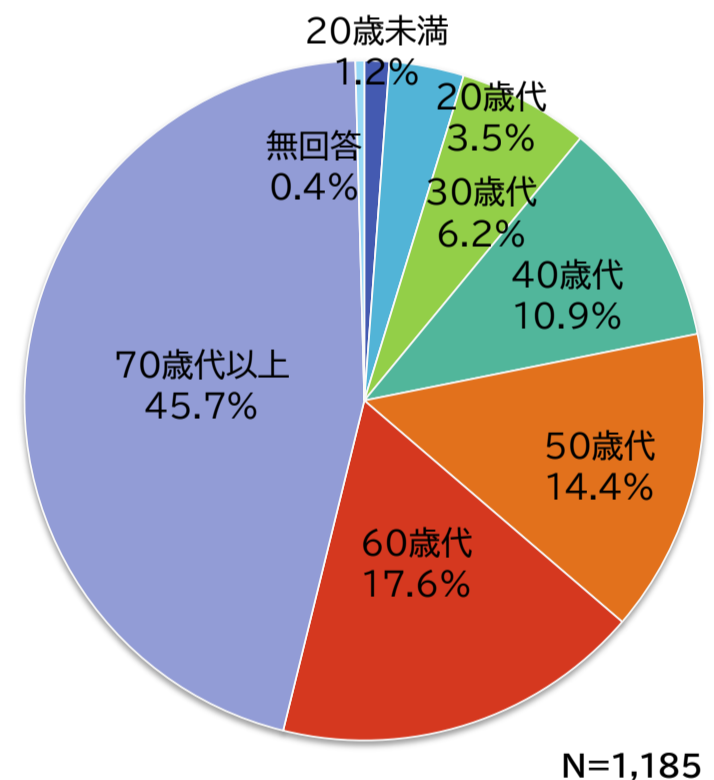
設問1 性別及び年齢

回答	回答数	割合
男	210	17.7%
女	917	77.4%
無回答	58	4.9%
計	1,185	



60歳以上が全体の約6割を占めている。

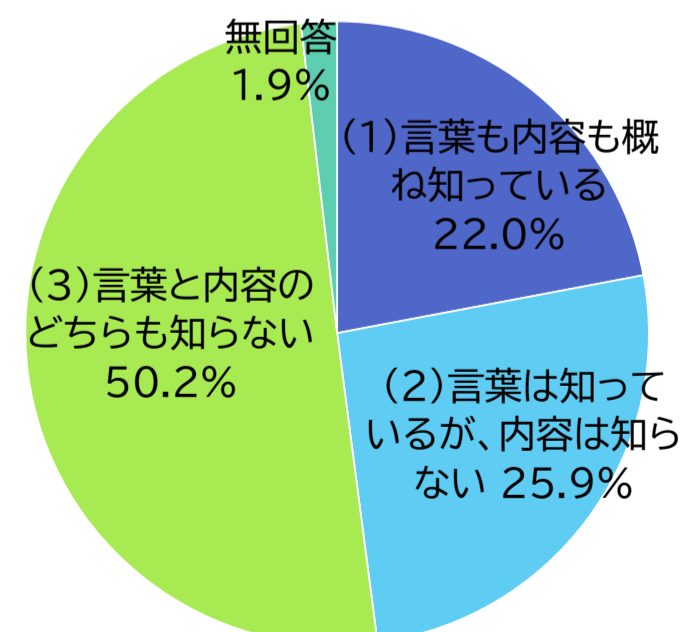
回答	回答数	割合
20歳未満	14	1.2%
20歳代	42	3.5%
30歳代	74	6.2%
40歳代	129	10.9%
50歳代	171	14.4%
60歳代	208	17.6%
70歳代以上	542	45.7%
無回答	5	0.4%
計	1,185	



設問2 エシカル消費をご存じですか。

言葉と内容のどちらも知らないと回答した人が5割を占めている。

回答	回答数	割合
(1)言葉も内容も概ね知っている	261	22.0%
(2)言葉は知っているが、内容は知らない	307	25.9%
(3)言葉と内容のどちらも知らない	595	50.2%
無回答	22	1.9%
計	1,185	

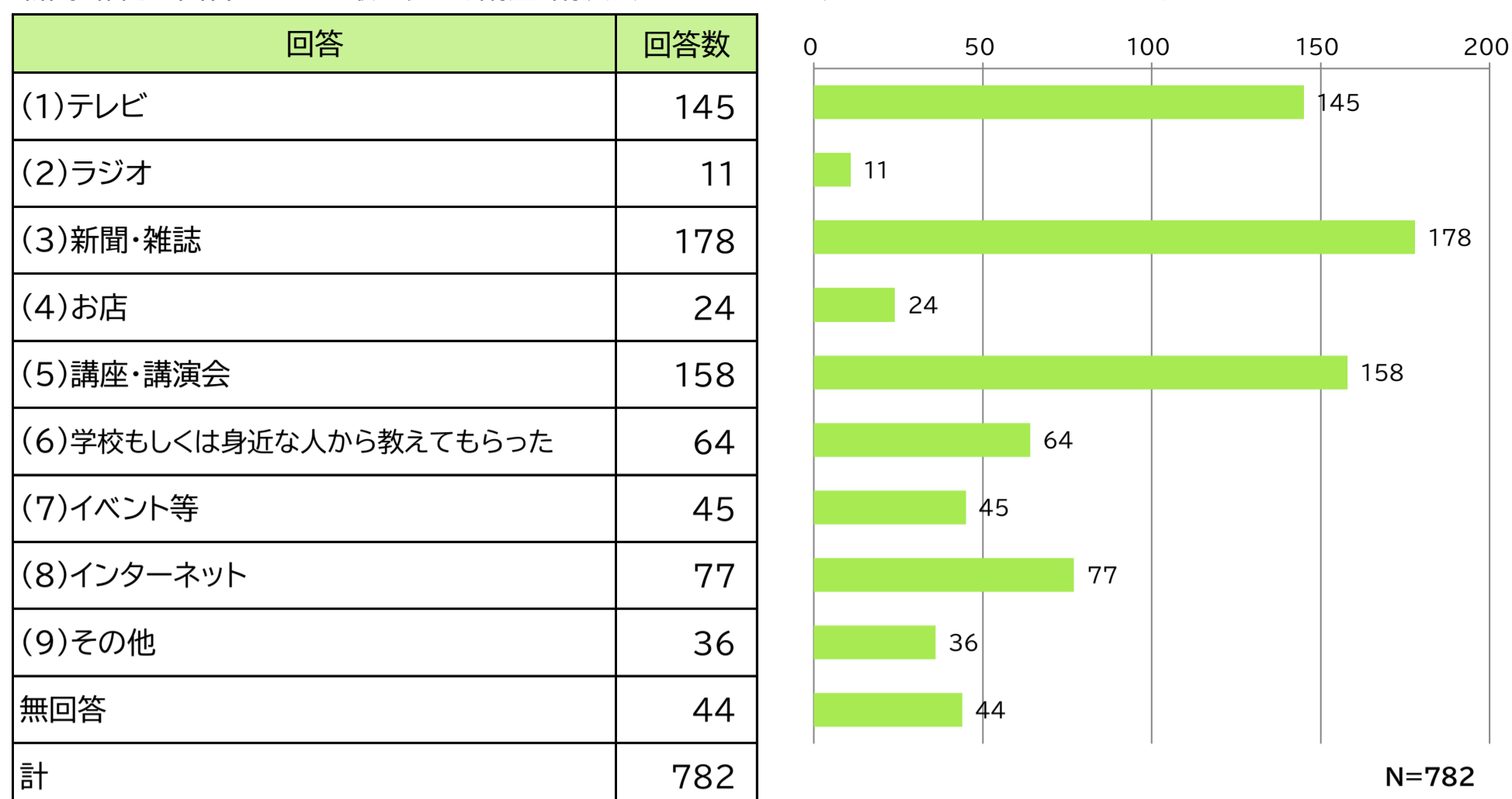


※令和5年度実施の同質問において、(1)もしくは(2)と回答した人は45.9%であった。(令和7年度は47.9%)

N=1,185

設問3 エシカル消費をどのように知りましたか。

新聞・雑誌と回答した人が最も多い。講座・講演会、テレビなども知るきっかけとなっている。

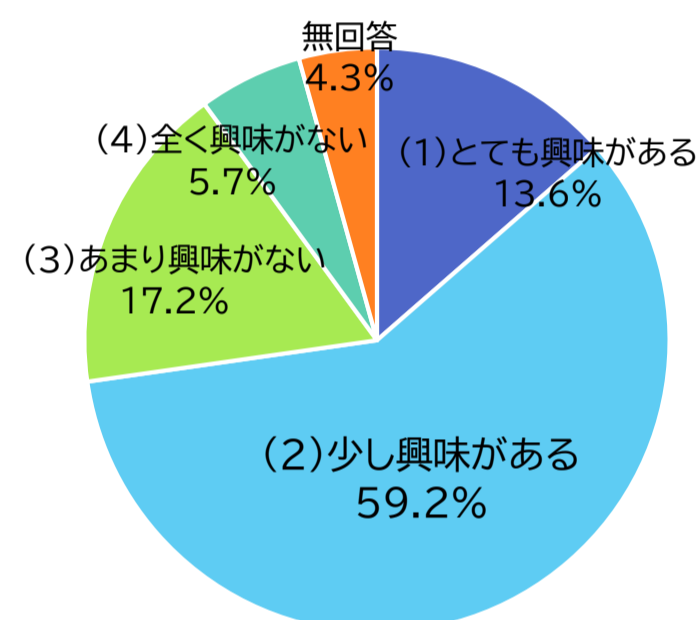


※(9)その他・・・婦人会(15件)、生協・コープ(4件)、愛育委員、公民館、病院、インスタグラム、家族から

設問4 「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動のことです。エシカル消費について、どの程度興味がありますか。

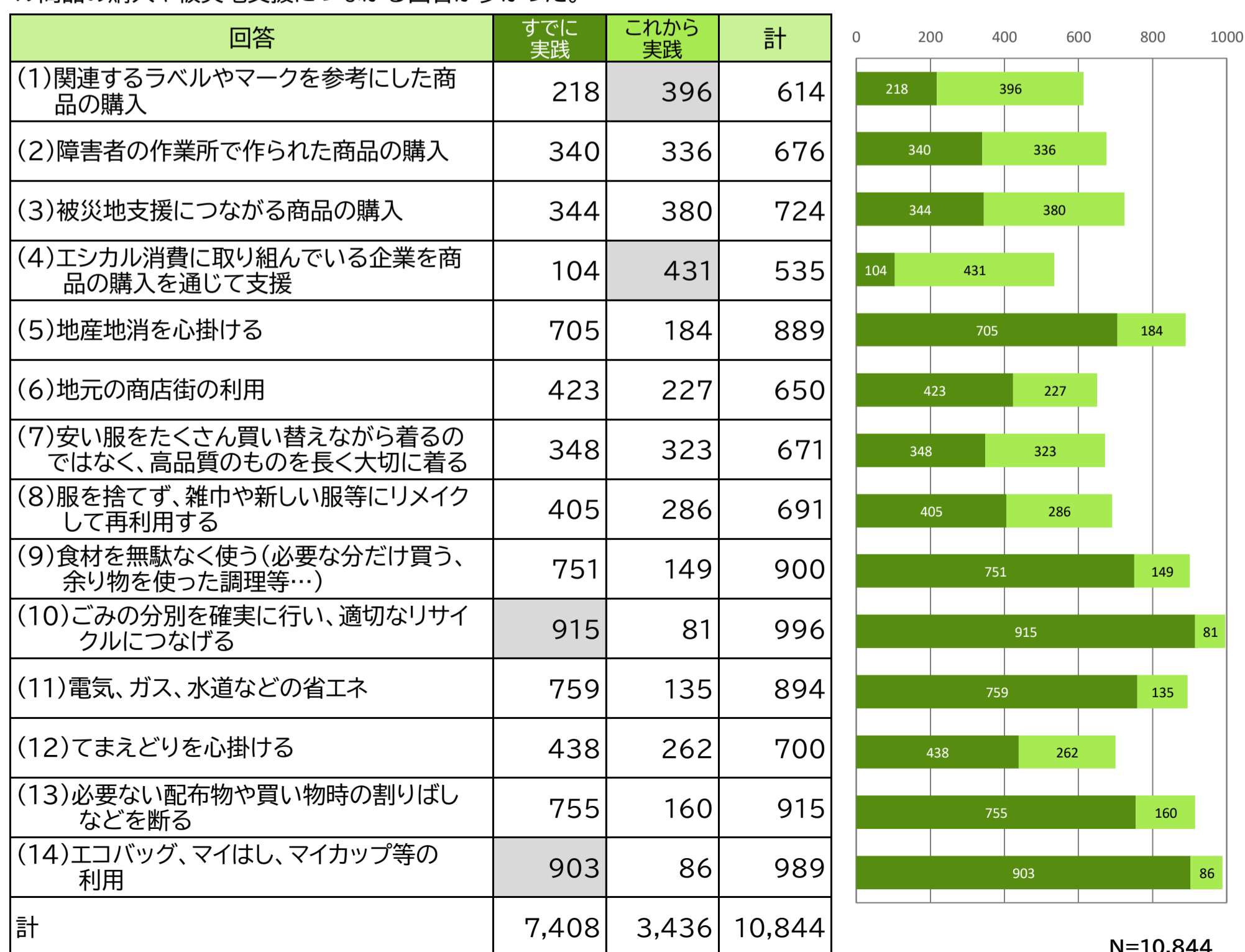
全体の7割以上の方が、「エシカル消費」に興味があると回答している。

回答	回答数	割合
(1)とても興味がある	161	13.6%
(2)少し興味がある	701	59.2%
(3)あまり興味がない	204	17.2%
(4)全く興味がない	68	5.7%
無回答	51	4.3%
計	1,185	



設問5 エシカル消費につながる行動について、すで実践していること、もしくはこれから実践してみようと思っていることがあれば、○をつけてください。

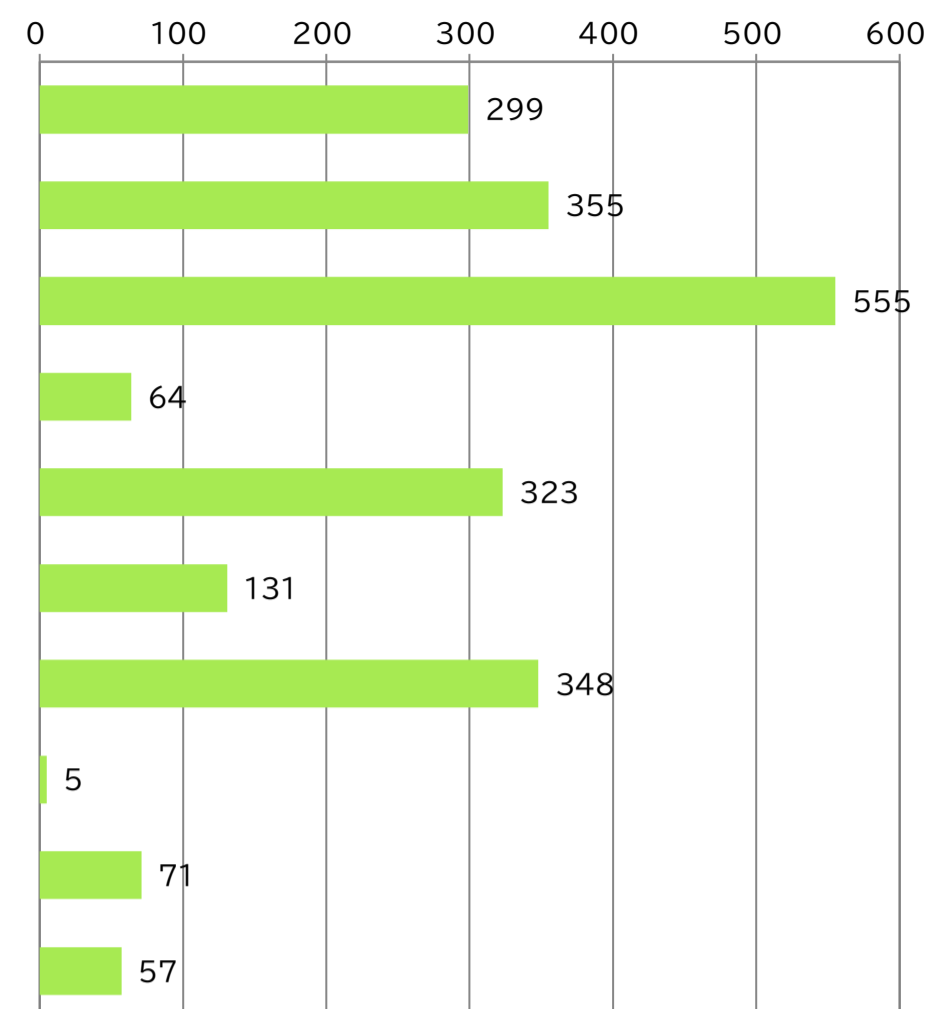
すで実践していることは、ごみの分別やエコバッグ等の利用などが多く、これから実践しようと思っていることは、エシカル商品の購入や被災地支援につながる回答が多かった。



設問6 (質問5で「すでに実践している」に一つでも○を付けた方)
エシカル消費につながる行動に取り組んでいる理由を教えてください。

節約につながるからと回答した人が最も多い。全体として、未来を見据えた行動や、地域や社会、環境のためにという理由が多かった。

回答	回答数
(1)地域を活性化したい	299
(2)環境問題や社会問題を解決したい	355
(3)節約につながる	555
(4)家族や友人が取り組んでいる	64
(5)同じものを買うのならば、社会等に貢献できるものを選びたい	323
(6)社会貢献している企業を応援したい	131
(7)次世代に住みよい環境を残したい	348
(8)その他	5
(9)特に理由はない	71
無回答	57
計	2,208



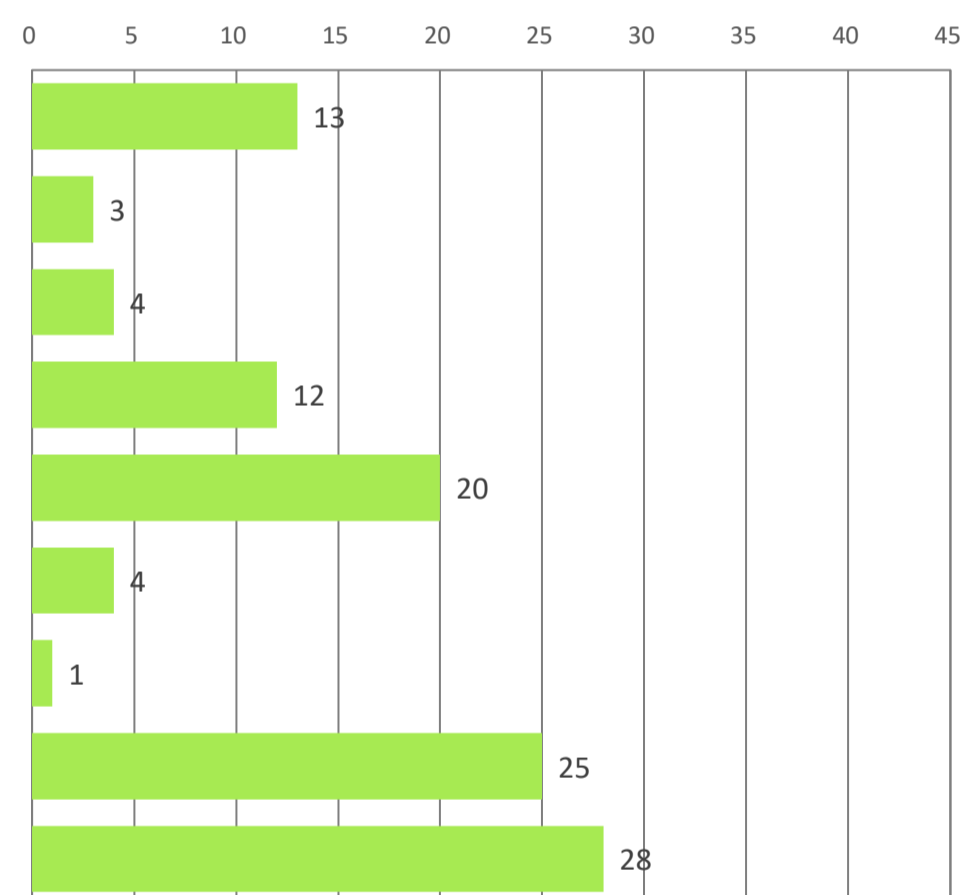
※(8)その他・・・あたりまえの行動だから、自分の生活に無理のないことだけ取り組む

N=2,208

設問7 (質問5で「すでに実践している」に○をつけなかった方)
エシカル消費につながる行動に取り組んでいない理由を教えてください。

特に理由はない、エシカル消費につながる商品・サービスが分からないとの回答が多かった。

回答	回答数
(1)エシカル消費に興味・関心がない	13
(2)経済的余裕がない	3
(3)周りの人が取り組んでいない	4
(4)時間や気持ちの余裕がない	12
(5)エシカル消費につながる商品・サービスが分からない	20
(6)商品・サービスの品質(味など含む)に不安・疑問がある	4
(7)その他	1
(8)特に理由はない	25
無回答	28
計	110

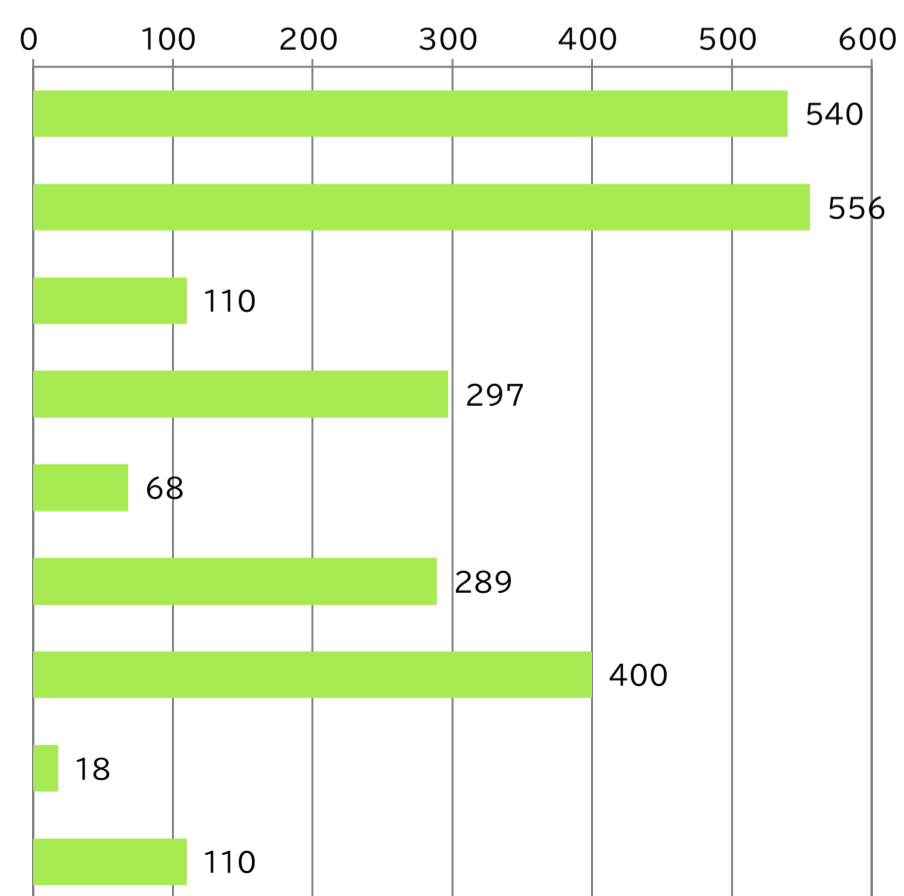


N=110

設問8 どのような条件であれば、エシカル消費を実践したい(もしくはもっと実践したい)と思いますか。

節約につながるのであれば、品質や機能が良ければという回答が多かった。

回答	回答数
(1)品質や機能が良ければ	540
(2)節約につながるのであれば	556
(3)デザインが良ければ	110
(4)社会問題の解決につながるから	297
(5)家族や友人など身近な人が使っていたら	68
(6)同じような商品・サービスと値段が同じぐらいだったら	289
(7)試してみて良ければ	400
(8)その他	18
無回答	110
計	2,388



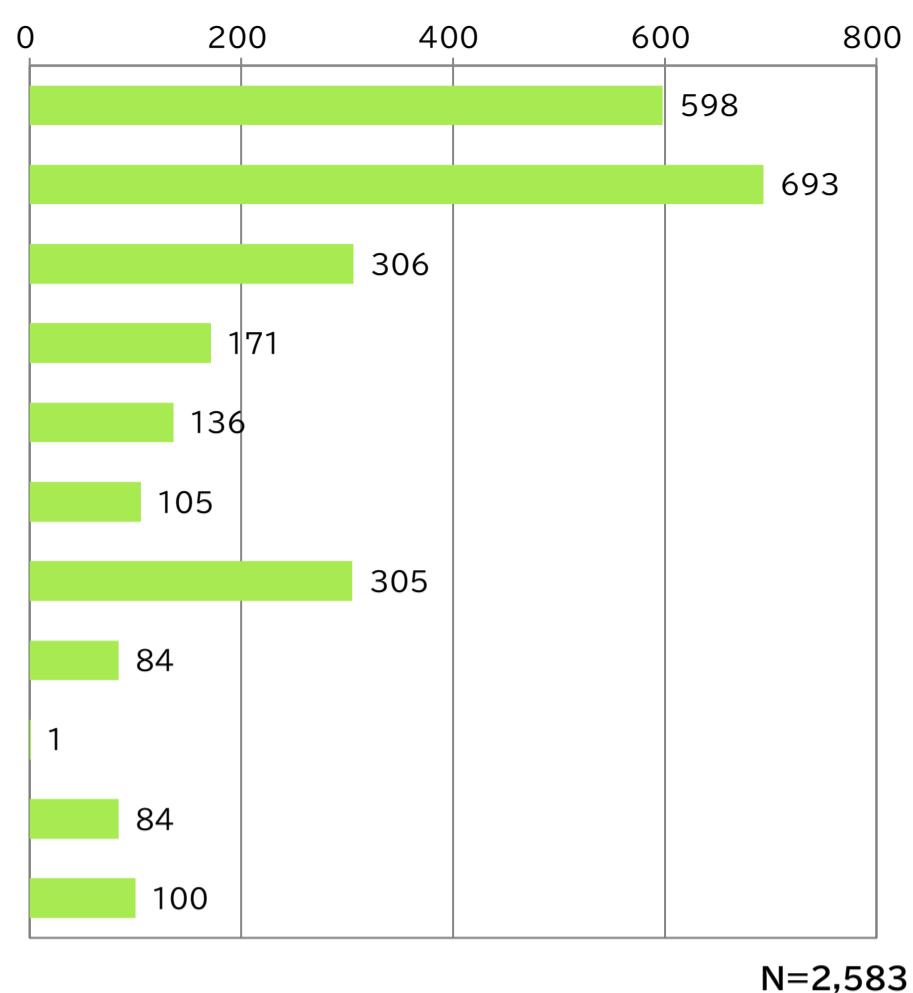
N=2,388

※(8)その他・・・自分の行動範囲なら、近くで手に入れば、もっとわかりやすければ

設問9 以下の社会的課題・社会貢献活動について関心があるものに○をつけてください。(いくつでも可)

地球環境問題という回答が最も多かった。地域活性化への関心も高いことが分かった。

回答	回答数
(1)地域活性化	598
(2)地球環境問題	693
(3)障がい者支援	306
(4)伝統文化・芸術支援	171
(5)人権問題	136
(6)発展途上国支援	105
(7)SDGs	305
(8)カスハラ(カスタマーハラスメント)	84
(9)その他	1
(10)特になし	84
無回答	100
計	2,583

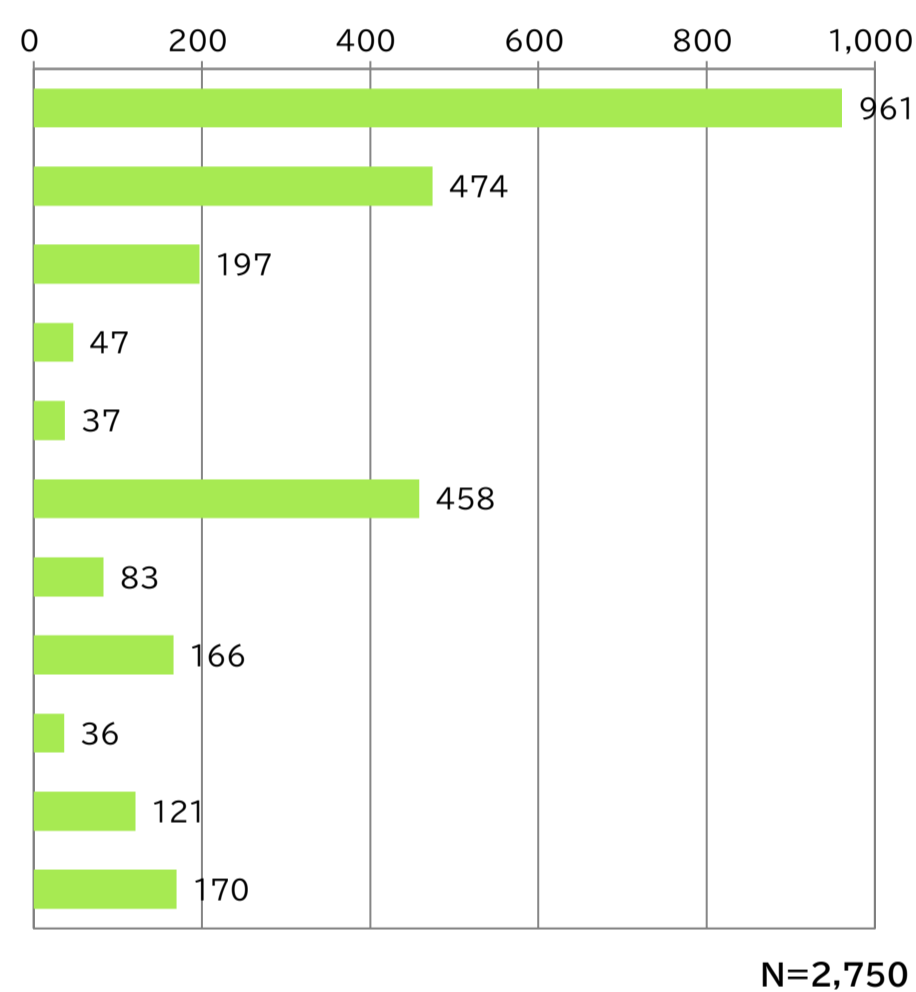


※(9)その他…児童育成

設問10 以下のマークについて、知っているものを○してください。

エコマークの認知度が最も高かった。次いで省エネマークや、有機JASマークも認知度の高かった。

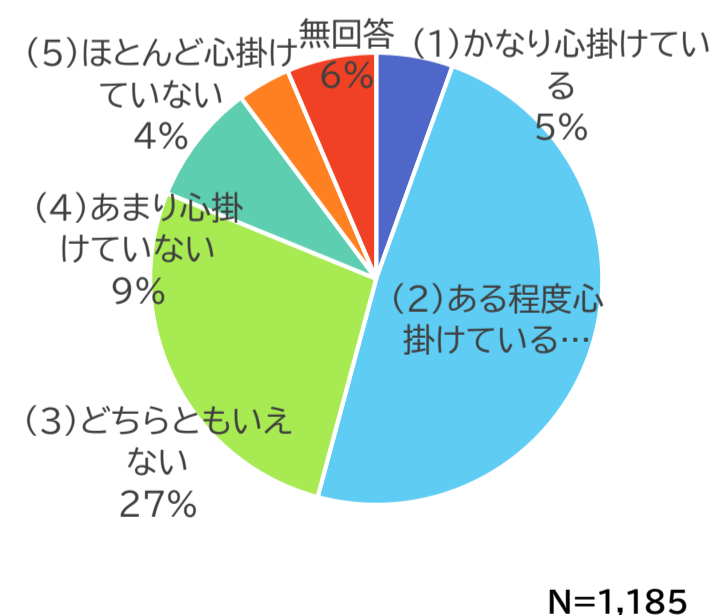
回答	回答数
(1)エコマーク	961
(2)省エネマーク	474
(3)伝統マーク	197
(4)MSC	47
(5)国際エネルギースターマーク	37
(6)有機JASマーク	458
(7)レインフォレストアライアンス	83
(8)フェアトレード	166
(9)RSPO	36
(10)FSCマーク	121
無回答	170
計	2,750



設問11 環境に配慮した商品やサービスを選択されますか。

全体の5割4分の人が「心掛けている」と回答している。

回答	回答数	割合
(1)かなり心掛けている	65	5.5%
(2)ある程度心掛けている	577	48.7%
(3)どちらともいえない	320	27.0%
(4)あまり心掛けていない	102	8.6%
(5)ほとんど心掛けていない	45	3.8%
無回答	76	6.4%
計	1,185	



設問12 フェアトレードとは、「途上国の人々と対等な関係や環境保護を目指し、適正な価格で取引すること」とご存じですか。

全体の3割の人が「知っている」と回答している。

回答	回答数	割合
(1)知っている	358	30.2%
(2)知らなかった	767	64.7%
無回答	60	5.1%
計	1185	

